

明日の市政を問う
「総合計画・成長戦略」

緑
風
会



森西 秋久 竹内(靖) 津本(憲) 木下 西野

問 2期目にあたり、今後の4年間をどう考え、どのような津山市の舵取りを考えているのか。実効性を持たせる成長戦略の具体的な施策や事業をどのように位置づけ、後期実施計画や第5次総合計画に反映をさせるのか。

市長 市政は市民のためという信念のもと、市民目線に立ち、「ならぬことはならぬ」という政治姿勢を心がける。2期目も市民、関係の皆様の声に謙虚に耳を傾け、活かすべきはしっかり反映させ、おだやかな中にも活気みなぎるまちづくりを目指し、全力で市政運営に取り組みたい。

答 成長戦略は、急速に進む人口減少・少子高齢化など、大きな課題に対応しなければならぬ。また、経済の成長と安定による雇用の創造と、雇用環境の改善も喫緊の課題である。戦略を実効性のあるものにするために、効果的な施策や事業をどれだけ打ち出せるかが重要である。ワーキンググループやプロジェクトチームにより取りまとめを行うなど、全庁で取り組みを進めたい。

問 計画に位置づけられた施策や事業は戦略事業として現総合計画、第5次総合計画においても産業振興の柱の一つとして成長戦略に位置づけたい。



成長戦略で経済の安定と雇用の創出を

問 総合計画はどのような視点と手法で策定しようとしているのか。

答 子どもからお年寄りまでが安心で幸せに、誇りを持って住み続けられる将来のまちの理想像を描き、それを実現するための施策の方向性、具体的施策をとりまとめ、市民が思い描くまちの姿を反映させることが大切。また、持続可能なまちづくりの視点も必要である。

問 津山城の天守閣を再建しているかと考えているのか。今後のスケジュールは。

答 天守再建は大きな夢だが、まずは第一期の整備計画をやり遂げることが必要と考える。

問 (仮称) つやま産業支援セン

ターの設置目的、日程は。

答 産業支援機関として設置を検討してきた。平成27年4月の設置を目標としている。

問 荻田酒造は城東地区の観光の起爆剤として期待されるが、どのように活用するのか。

答 荻田家住宅及び酒造場と連続する町家群を魅力ある観光拠点として整備していく。

問 指定管理者制度による運用で「安かろう悪かろう」はないか。幅広く公募する必要は。

答 競争原理を導入し、総合評価を原則としている。

問 中心市街地活性化基本計画に期待するものは。5年後の中心市街地をどう見ているか。

答 現事業を円滑に実施し、新たなまちづくりビジョンをまとめ、第2期計画に繋げたい。

問 農業、林業を成長させるための仕組みは。

答 成長戦略において、本市独自の農業振興施策を検討し、儲かる農業、継続可能な森林整備が行える体制、計画づくりが必要と考える。

◎ 有権者が威迫してあるいは議員を陥れる目的で寄付を求めると処罰されます。